



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 伊東 浩治 (TEL) 03-5318-0639
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,884	10.1	2,095	△49.0	3,938	△25.8	3,120	△22.4
2023年3月期第1四半期	18,061	37.0	4,110	△3.2	5,307	25.5	4,023	32.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,549百万円(△3.6%) 2023年3月期第1四半期 5,757百万円(126.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	76.33	—
2023年3月期第1四半期	98.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	145,261	113,723	78.3
2023年3月期	150,508	114,502	76.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 113,723百万円 2023年3月期 114,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	155.00	155.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	△8.1	9,700	△31.7	9,800	△36.9	6,500	△43.6	158.97
通期	72,000	△17.7	17,500	△39.0	17,800	△40.3	12,000	△42.6	293.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	42,000,000株	2023年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,110,286株	2023年3月期	1,112,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	40,887,921株	2023年3月期1Q	40,898,650株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「スラムダンク」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は198億84百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は「聖闘士星矢 The Beginning」の棚卸資産の評価損を計上したことにより、20億95百万円（同49.0%減）、経常利益は39億38百万円（同25.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億20百万円（同22.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、4月に「聖闘士星矢 The Beginning」、6月に劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos《前編》」、劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos《後編》」を公開しました。前年同期に公開した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の反動減により、大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「ひろがるスカイ！プリキュア」、「逃走中 グレートミッション」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「おしりたんてい」の5作品を放映しました。前年同期と比較して放映作品数が減少したことから、大幅な減収となりました。

コンテンツ部門では、前年同期好調に稼働した「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」、劇場版「美少女戦士セーラームーンEternal《前後編》」のブルーレイ・DVDの反動減等により、大幅な減収となりました。

海外映像部門では、前年同期好調に稼働した映画「ドラゴンボール超スーパーヒーロー」の海外上映権販売の反動減があったものの、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売が好調だったことから、前年同期と比較して若干の減収となりました。

その他部門では、「ONE PIECE FILM RED」をはじめとした、国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は72億83百万円（前年同期比5.2%減）、利益については、「聖闘士星矢 The Beginning」の棚卸資産の評価損を計上したこと等により、セグメント損失は22億69百万円（前年同期は、5億54百万円のセグメント利益）と減収減益となりました。

②著作権事業

国内著作権部門では、「ワンピース」のゲーム化権販売、商品化権販売が好調に稼働したことから、増収となりました。

海外著作権部門では、前年同期好調に稼働した「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売の反動減があったものの、「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働したことから、ほぼ横ばいとなりました。

この結果、著作権事業全体では、売上高は97億93百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は48億99百万円（同9.2%増）と増収増益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」のショップ事業、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売が好調に稼働したこと等から、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は24億1百万円（前年同期比348.7%増）、セグメント利益は4億54百万円（前年同期は、36百万円のセグメント損失）と大幅な増収増益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したことから、大幅な増収となりましたが、イベント事業全体にかかる販売費増等により減益となりました。

この結果、売上高は4億75百万円（前年同期比49.1%増）、セグメント損失は21百万円（前年同期は、48百万円のセグメント利益）と増収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,909	63,520
受取手形及び売掛金	24,975	21,832
有価証券	50	52
商品及び製品	4,812	2,009
仕掛品	8,417	8,440
原材料及び貯蔵品	107	115
その他	5,451	7,681
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	110,702	103,632
固定資産		
有形固定資産	8,392	8,290
無形固定資産	1,184	1,183
投資その他の資産		
投資有価証券	12,599	14,536
その他	17,633	17,621
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	30,229	32,155
固定資産合計	39,806	41,628
資産合計	150,508	145,261
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,763	19,807
未払法人税等	5,334	1,222
賞与引当金	547	281
その他	6,505	9,338
流動負債合計	35,150	30,649
固定負債		
役員株式給付引当金	158	165
退職給付に係る負債	225	284
その他	472	438
固定負債合計	855	888
負債合計	36,006	31,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	103,298	100,076
自己株式	△807	△793
株主資本合計	108,768	105,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,794	3,976
繰延ヘッジ損益	△1	6
為替換算調整勘定	2,941	4,179
その他の包括利益累計額合計	5,734	8,162
純資産合計	114,502	113,723
負債純資産合計	150,508	145,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	18,061	19,884
売上原価	11,519	14,355
売上総利益	6,542	5,528
販売費及び一般管理費	2,432	3,432
営業利益	4,110	2,095
営業外収益		
受取利息	40	190
受取配当金	616	202
持分法による投資利益	4	—
為替差益	214	1,414
その他	326	47
営業外収益合計	1,203	1,855
営業外費用		
支払利息	5	0
持分法による投資損失	—	2
投資事業組合運用損	—	8
その他	0	0
営業外費用合計	5	12
経常利益	5,307	3,938
税金等調整前四半期純利益	5,307	3,938
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,348
法人税等調整額	84	△531
法人税等合計	1,284	817
四半期純利益	4,023	3,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,023	3,120

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,023	3,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	1,134
繰延ヘッジ損益	3	8
為替換算調整勘定	1,722	1,237
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	47
その他の包括利益合計	1,734	2,428
四半期包括利益	5,757	5,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,757	5,549
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。